

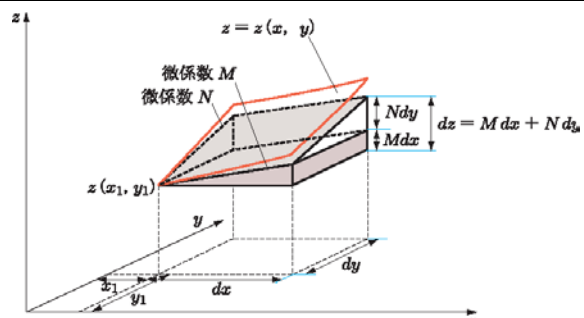
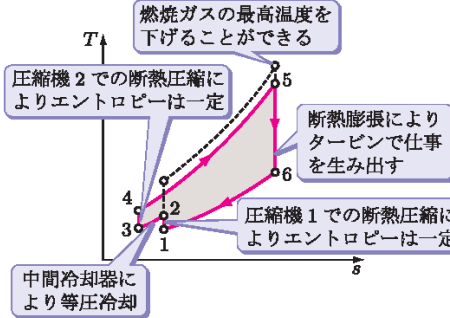
## 例題でわかる工業熱力学(第2版) 正誤表

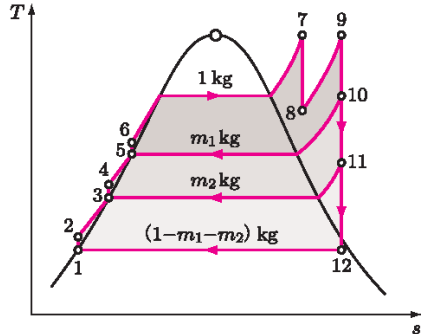
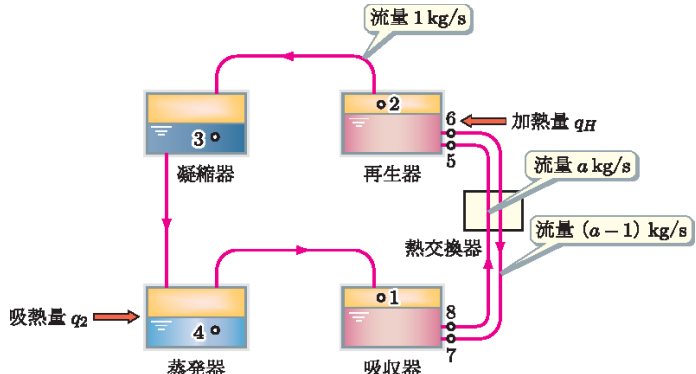
本書の内容に以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

お手持ちの本の「刷数」とこの表の「該当刷数」が一致する箇所をご参照ください。お手持ちの本の「刷数」の調べ方は[こちら](#)

(2024年2月28日更新)

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1,2	vii	右列 下から 8行目	閉じた系の <b>最大仕事</b>	閉じた系の <b>有効エネルギー</b>
1,2	vii	右列 下から 6行目	開いた系の <b>最大仕事</b>	開いた系の <b>有効エネルギー</b>
1,2	viii	右列 下か ら 3行目	$\Delta H_r^\circ = \sum m \Delta H_{f,\text{prod}}^\circ - \sum i \Delta H_{f,\text{react}}^\circ$	$\Delta H_r^\circ = \sum j \Delta H_{f,\text{prod}}^\circ - \sum k \Delta H_{f,\text{react}}^\circ$
1,2	viii	右列 下か ら 1行目	$\Delta G_r^\circ = \sum m \Delta G_{f,\text{prod}}^\circ - \sum i \Delta G_{f,\text{react}}^\circ$	$\Delta G_r^\circ = \sum j \Delta G_{f,\text{prod}}^\circ - \sum k \Delta G_{f,\text{react}}^\circ$
1	52	図 3.14	(図下部) 乾球温度 $d$	乾球温度 $t$
1,2	76	14行目	…, 式 (4.58) より,	…, 式 (4.59) より,
1,2	85	5.2.3 節 2行目	… $dW_a$ を求めてみる.	… $W_a$ を求めてみる.
1,2	85	下から 4行目	…, $dW_a$ は…	…, $W_a$ は…
1,2	86	図 5.3	((a)(b)それぞれ各 1 箇所) $dW_a$	$W_a$
1,2	90	5.3.1 節 1~2行目	閉じた系の <b>有効エネルギー</b> 式 (5.16) において, $V =$ (一定) であるから, <b>そのときの最大仕事</b> $W_{12,F}$ は次式となる.	閉じた系の <b>最大仕事</b> の式 (5.16) において, $V =$ (一定) であるから, <b>等温・等容変化</b> の最大仕事 $W_{12,F}$ は次式となる.
1,2	90	5.3.2 節 1~2行目	閉じた系の <b>有効エネルギー</b> 式 (5.16) より, <b>そのときの最大仕事</b> は次式となる.	閉じた系の <b>最大仕事</b> の式 (5.16) より, <b>等温・等圧変化</b> の最大仕事 $W_{12,G}$ は次式となる.
1,2	92	演習問題 5.1	20°Cの空気 1kg を <b>定容</b> のもつとで…	20°Cの空気 1kg を <b>等容</b> のもつとで…
1,2	95	Coffee Break 3行目	… <b>飽和液</b> の 1673 倍…	… <b>圧縮液</b> の 1673 倍…

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	110	図 7.1	右図のように	
1,2	115	Coffee Break	等圧比熱 等容比熱	定圧比熱 (3 か所) 定容比熱 (3 か所)
1	120	例題 7.5 解答 5 行目	$\Delta T = 108.24 - 105.99 = 2.25^\circ\text{C}$	$\Delta T = 108.22 - 105.97 = 2.25^\circ\text{C}$
1,2	126	3 行目	…，仕事を <b>する</b> (された) とは考えず，…	…，仕事を <b>した</b> (された) とは考えず，…
1	130	図 8.7(b)	(左側の吹き出し) 断熱 <b>膨張</b> によりエントロピーは一定	断熱 <b>圧縮</b> によりエントロピーは一定
1	130	下から 8 行目	この際，燃焼は緩やかに伝播するために…	この際，燃焼は緩やかに伝播し， <b>その間ピストンが移動</b> するために…
1	136	図 8.12	(右側の図の見出し) (a) $T$ - $s$ 線図	(b) $T$ - $s$ 線図
1,2	140	図 8.16(a)	(右側の吹き出し) 熱交換器で圧縮したガスを加熱	熱交換器に排熱を放熱
1	143	図 8.19(b)	右図のように (右下の吹き出しの当たる位置)	

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	152	下から 2行目	$h_5 - h_6 = 1518.5 \text{ kJ/kg}$	$h_5 - h_6 = 1520.84 \text{ kJ/kg}$
1	163	図 9.12(b)	右図のように (6 の位置)	 <p>(b) T-s 線図</p>
1,2	163	下から 5行目	ガス温度を高温熱源として…	ガスを高温熱源として…
1,2	169	図 10.4	(下の吹き出し) …熱量を低温熱源に吸収	…熱量を低温熱源から吸収
1,2	171	図 10.6(b)	(上の吹き出し) 冷媒は過熱蒸気から飽和液となり，熱を放出する (下の吹き出し) 冷媒は湿り蒸気から乾き飽和蒸気となり，熱を吸収する	冷媒は熱を放出して過熱蒸気から飽和液となる  冷媒は熱を吸収して湿り蒸気から乾き飽和蒸気となる
1	178	図 10.12	右図のように	

該当刷数	頁	行数など	誤	正
1	182	図 10.16(b)	右図のように (図の左下の部分)	<p>(b) T-s 線図</p>
1,2	195	図 11.4	(右下の吹き出し) 陽極で酸素と水素が反応して水を生成	陽極で酸素と電子および水素イオンが反応して水を生成
1,2,3,4	201	解答 5.3 4 行目	…なお, 閉じた系の式(5.17)を用いても同様に求められる.	…なお, 式(5.17)を用いれば閉じた系としての値が求められる.
1,2,3,4,5,6	202	7.3	…また, 融解現象では $r < 0$ であるから, $\frac{dp}{dT} = \frac{-334 \times 10^3}{273.15 \times (0.001 - 0.00109)} = 1.359 \times 10^7 \text{ Pa/K}$ よって, $\frac{dT}{dp} = 0.0736 \text{ K/MPa}$ .	…また, 融解現象では $r > 0$ であるから, $\frac{dp}{dT} = \frac{334 \times 10^3}{273.15 \times (0.001 - 0.00109)} = -1.359 \times 10^7 \text{ Pa/K}$ よって, $\frac{dT}{dp} = -0.0736 \text{ K/MPa}$ .
1	207	付表 2	(飽和温度の列の下から 9 行目) 101.98	100.98